

生徒・保護者・教職員のための
草津中学校ガイドブック



KUSACHU - NAVI

2024



377-1711 群馬県吾妻郡草津町大字草津 464 番地 27

草津町立草津中学校

Tel: (0279) 88-2227

Fax: (0279) 88-2230

URL :<http://kusatsu-jhs.edu.town.kusatsu.gunma.jp/>

校歌・校章・校舎

校歌

作詩 職員一同 作曲 宮脇謙一

- 一、流れゆく雲間の | かなた 雄然と白根そびゆる
 白かばのかがやくおかに 学舎はそそりてたり
 いざや友胸ひらき共に語らん
 手をとりにて共に学ばん ああ草津 若人われら
- 二、古きより湧きてつきせぬ 大いなる泉のさとに
 生うけしその身ほこりて とこしえの道ぞきわめん
 いざや友声高く共に歌わん
 手をとりにて共に歩まん ああ草津 輝くわれら
- 三、山はれて泉すみゆく 悠久のまことをくみて
 ふるさとの久遠の花と 香も高く咲く日のぞまん
 いざや友肩くみて共に進まん
 手をとりにて共につとめん ああ草津 われらが母校

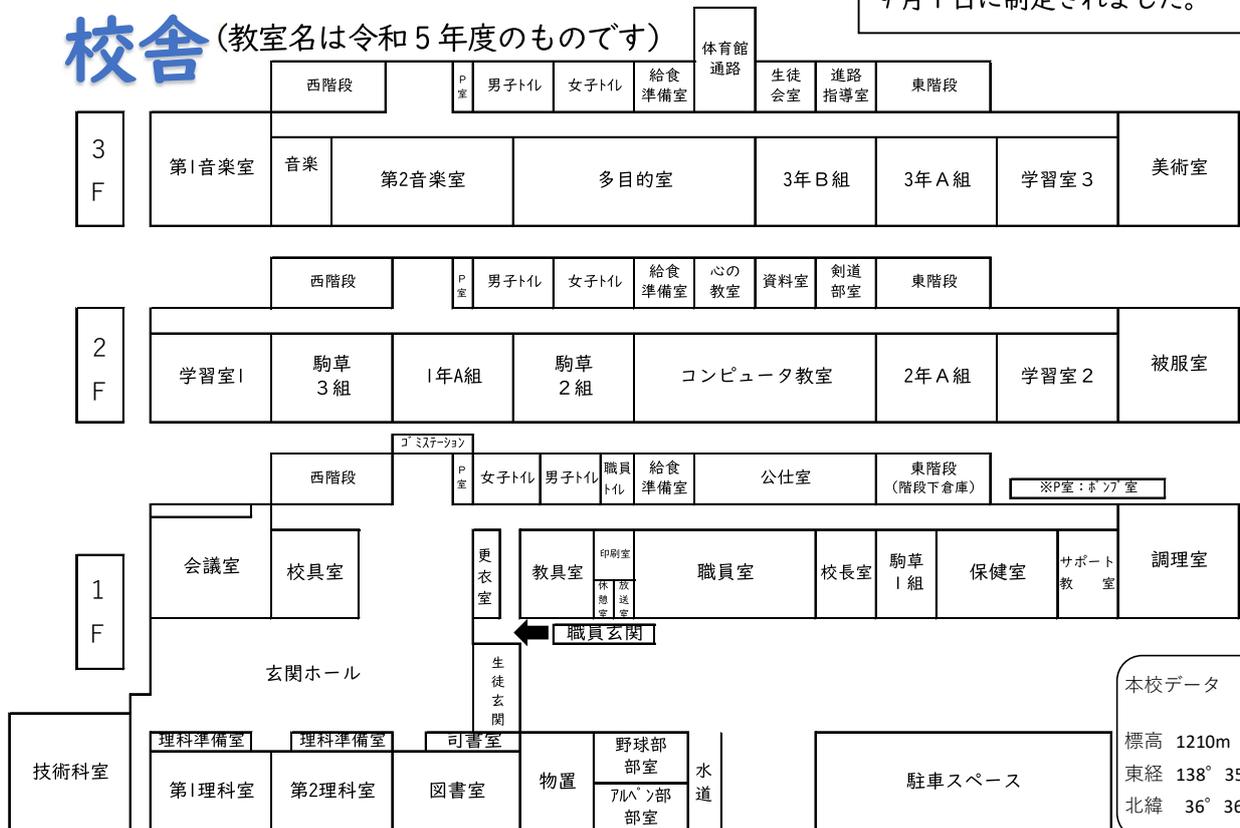
詳細はわかりませんが、昭和28年夏に校舎が全焼し、昭和29年に新校舎が建設されました。同年11月12日に新校舎落成式が挙行され、その時に校歌も発表されたようです。校歌作成に当たっては、当時の本校職員の山口リウ子先生を中心に作詞をされ、やはり当時の本校職員の宮脇謙一先生により作曲されたようです。

校章



まわりは雪の結晶を、中は草と中をイメージし、構成し、昭和22年9月1日に制定されました。

校舎 (教室名は令和5年度のものです)



本校データ
 標高 1210m
 東経 138° 35'
 北緯 36° 36'

本校の教育

学校教育目標

『心豊かで、高い知性をもつ健康な生徒の育成』

<目指す生徒像>

- ◎ く くじけずやり抜く生徒
- ◎ さ 先を見通し学習に取り組む生徒
- ◎ ち 力を合わせ支え合う生徒
- ◎ ゆ 友情を深め心豊かな生徒
- ◎ う 運動で心身を鍛える生徒

<スローガン>

笑顔 全力 声 感謝

経営方針

全教職員はもとより地域住民の協力体制と信頼関係を基盤にして、生徒が安全に落ち着いて学習活動に取り組み、自己実現が図れる学校経営に努める。

- (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえ、創意ある教育課程の編成と実施、教職員研修の充実に努める。
- (2) 生徒一人ひとりがそれぞれのよさを生かして学び合い、成就感が持てる場としての魅力ある学校経営に努める。
- (3) 基礎的・基本的事項の習得の徹底を図り、確かな学力の育成に努める。
- (4) 町民憲章の精神を生かし、挨拶・礼儀・親切・奉仕の基本的な生活態度を確立するとともに郷土を愛する心を育てる。
- (5) 本校の生徒指導上の課題を明確にし、家庭・地域社会との連携を図りながら、組織的な取り組みに努める。
- (6) 全教育活動を通して、豊かな人間性、確かな学力、健康・体力など、生きて働く力の育成に努める。
- (7) 地域のもつ機能を生かし、地域とのふれあいを大切にした福祉教育の充実に努める。
- (8) ICT 機器を積極的かつ安全に活用し、情報化社会に対応できる生徒の育成に努める。
- (9) 生徒、教職員が落ち着いて学習活動を展開でき、安全な学校環境づくりに努める。
- (10) 学校評価システムの実施により、保護者や地域、生徒の考えを反映した、よりよい学校づくりに努める。
- (11) 人事評価制度の実施により、職員の職能成長を図るとともに、学校組織の活性化に努める。
- (12) 学校事務の共同実施により、学校の活性化や自主性・自律性の確立に努める。
- (13) 的確な生徒の実態把握に基づいて、個に応じた特別支援教育に努める。
- (14) 月の時間外勤務 80 時間超ゼロを目指した業務改善と部活動運営に努める。

校 時 表

草津中学校は令和6年度より下表の校時表で活動しています。

ただし、行事などがある日は、特別な日程になります。

通常	月	火	水	木	金	短縮	
8:00	職員 朝会8:00~8:10			職員 朝会8:00~8:10		8:00	
8:05	生徒 朝学習 8:05~8:15		朝礼 8:05~8:15	生徒 朝学習 8:05~8:15		8:05	
8:10						8:10	
8:15						8:15	
8:15	朝の学活(10分)					8:15	
8:25						8:25	
8:30						8:30	
	第1校時						
9:20						9:15	
9:30						9:25	
	第2校時						
10:20						10:10	
10:30						10:20	
	第3校時						
11:20						11:05	
11:30						11:15	
	第4校時						
12:20						12:00	
12:20	給食(35分)・昼休み(20分)					12:00	
13:15						12:55	
13:20						13:00	
	第5校時						
14:10						13:45	
14:20	※委員会実施日 ・清掃 13:20~13:35 ・学活 13:40~13:50 ・委員会 13:55~14:45 ・完全下校 14:55	第6校時					13:55
15:10							14:40
15:15		清掃(15分)					14:45
15:30							15:00
15:35	帰りの学活(10分)					15:05	
15:45						15:15	

服装と持ち物

服装と持ち物の基本は…

- 質素（高価な物はさけ、シンプルに）
- 清潔（他の人に不快感を与えない）
- 上品（礼儀正しくマナーを守る）

服装

○制服…【上】学校指定の制服

【下】学校指定のズボン（男女共）・スカート（女子）

制服の下は白のワイシャツ・ブラウス（女子はベスト可）を着用する。

※女子はスカートの下にジャージをはかない。

※冬服はネクタイ、リボンを着用する。

※夏服（6～9月）はワイシャツ・ブラウスとする。（ネクタイ、リボンは着用なし）

【学校指定の制服】



【女子のベスト】



【夏服】



【学校生活の服装】



☆次の場面では制服を着用する。

①始業式・終業式・入学式・卒業式・修了式などの儀式の時。

②期末テスト・実力テスト実施時。

③合唱コンクール

☆季節に合わせた制服の着用

4月～5月、10～3月	6月～9月
冬服	夏服

*登校時は通年ジャージとする。

○Tシャツは学校指定のものか、色は白でワンポイントまでは可とする。ただし、大きな図柄はワンポイントとしては認めない。

○くつ下は色を白とする。ワンポイント・一本ラインまでは可とする。足の甲にあるものはワンポイントとしては認めない。制服着用時は白のスクールソックスが望ましい。

○トレーナーは色を白・淡いグレーとし、無地もしくはワンポイントまでは可とする。外から見えないように着

用する。

- 下履きは体育の授業で機能的に使用できるものとし、色は白を基調（靴ひもは白）とする華美でないものとする。
- 校舎内ではウィンドブレーカーは着用しない。
- 女子の長い髪はしばること。前髪は目にかからないようにすること。
- 防寒具…学校指定のウィンドブレーカー、手袋・マフラー・ネックウォーマー・帽子・スノーシューズ
手袋・マフラー・帽子・スノーシューズは、防寒対策として着用し、色・形状などは特に規定しない。
ただし、登下校時のみ着用可とする。（体調不良の場合は、先生に申し出て許可を得る。）
- 「ベンチコート」「ダウンコート」「スキーウェア」を着用する場合は必ず、ウィンドブレーカーを着用の上、使用してください。
（白、グレー、黒、紺等を基調とした中学生としてふさわしい物）

※留意点

下記の点に留意しながら、気候や体調に合わせて、制服や防寒着の着用の仕方を判断すること。

- ・制服の下からワイシャツを出さない。
- ・ズボンは、床にすらない程度の長さにする。
- ・スカート丈は膝がかくれる程度とする。
- ・体操服着用の場合も、体操服の下からTシャツやトレーナーを出さない。
- ・Tシャツ・靴下は、ワンポイントまでは可とする。
- ・プロミスリングなどの装飾物をしない。

持ち物

- かばん…学校指定のかばん
 - 上履き…学校指定の上履き（男子：青ライン、女子：黄ライン）
 - 体操服…学校指定のジャージ上下、Tシャツ、ハーフパンツ
 - 体育館シューズ…学校指定の体育館シューズ（男子：青ライン、女子：赤ライン）
- ※個人の持ち物には、必ず記名をしてください。

購入先

- シゲハラ 88-5252 ○ 檜山 88-2126

※「制服（町半額支給）・かばん」は、一括注文となります。

後日注文の場合は、取り寄せとなります。

※購入後、さらに必要となる関連用品の再購入についても、上記の商店でご購入いただけます。値段等のお問い合わせは、直接商店にお尋ねください。

健康・安全に過ごすために

子どもから大人へ

中学生は、心身ともに子どもから大人へ大きく変化します。ホルモンの分泌が変わり身体に変化が起きると、精神的にも非常に不安定になります。また、学習や友人関係等でストレスがたまる時期です。家族の中でも、大人としての独立心が芽生えてきます。親にも知られたくないことがあり、訳もなく反抗することもあります。親も子も互いの接し方に戸惑うこともあります。中学3年間を通して、生徒はひとりの人間として大きく成長します。保護者や教職員は生徒の大人への成長を支援し、あたたかく見守っていききたいものです。

家庭での生活習慣

毎日健康に暮らすには、「早寝・早起き・朝ごはん」を基本とする規則正しい生活をするのが大切です。夜更かしや不規則な食事、朝食欠食等が「習慣」とならないよう気をつけましょう。

本校生徒は、就寝時刻が遅く、睡眠時間が少ない傾向にあります。中学生の睡眠時間は8～10時間が推奨されています。

また、ゲームやネット・SNSについては、利用する場所・時間など親子で話し合い、家庭内でルールを作り、保護者が子どもの利用について見守りましょう。

欠席等の連絡

朝、生徒の体調が悪い、けがをした等で学校を欠席・遅刻する場合は、8時00分までに、保護者から電話で担任まで連絡をお願いします。

学校での健康管理

生徒の健康状態は、担任や養護教諭が毎日観察しています。その他にも、全教職員が生徒の健康状態に気をつけています。生徒の心身の異常が分かった時には、早い段階から家庭と連絡を取るなど、家庭と学校が連携して対処します。

ケガをしたとき

- ① 学校で起きたケガについては、保健室で応急手当を行い、その後経過観察をします。（状態により学校又は家庭で）
- ② 医療機関の受診を要するものは、速やかに保護者に連絡をとり、受診します。

※なお、保健室ではその日起きたケガの応急手当はしますが、治療を目的としているものではありませんので、その後の処置は家庭でお願いします。

からだの調子の悪いとき

- ① 教室での授業が可能であると判断した場合は、教室に戻し、担任が経過観察をします。
- ② 休養が必要と判断した場合は、しばらく保健室で休養させ、経過を観察します。休養の目安は1時間です。その後も状態がよくなる場合は、保護者の方に連絡をとり早退させます。
(原則として迎えにきていただきます。)

※保健室は医療機関ではありませんので、病院のように内服薬の投与をはじめとする医療行為はできません。ご承知ください。

※お子さまの健康面で、何か気になることがありましたら、養護教諭または担任まで気軽にご相談ください。

災害共済給付制度（日本スポーツ振興センター）

万が一、「学校の管理下」でお子さんが医療費のかかるケガや熱中症・食中毒などの災害にあった場合に備えて、日本スポーツ振興センターでは災害給付制度を行っています。「学校の管理下」とは、登校から下校するまでの間のことで、決められた通学路での登下校や部活動、体育祭や宿泊行事なども含まれます。草津町では、すべての児童生徒が日本スポーツ振興センターに加入することを原則としており、加入にかかる掛金は、町が全額負担しています。

ただし、療養に要する費用が500点（5,000円）以上の災害が支給対象となります。また、中学生は子ども医療費助成制度により医療費が無料となっていますが、この災害給付制度を利用することで、医療費の1割分が保護者へ支給されます。

学校での安全管理

毎月、生徒と全教職員で協力して、校舎内・外の安全点検を行っています。また、修理が必要な箇所は、補修をして、快適な環境づくりに心がけています。

もしもの場合に備えて

不審者情報や緊急時の連絡、学校行事変更等のために、携帯電話（スマートフォン）への「メール配信」を行っています。改めてアプリにユーザーを登録する必要があります。4月に登録用紙をお渡しします。機種を変えた場合は新たにアプリの登録をお願いします。

特別な状況での欠席

感染症の種類と出席停止

病気で学校を休む場合、以下の病気にかかった時は「出席停止」となり、欠席になりません。ただし、医師の診断に基づきますので、分かり次第、学校にお知らせください。なお、感染症が治って登校する時は、「治癒証明書」（インフルエンザ・新型コロナの場合は「療養報告書」）を提出していただきます。

感染症名	学校登校まで。
インフルエンザ	発症した後（発症の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで。
新型コロナウイルス感染症	発症した後（発症の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ症状軽快した後1日を経過するまで。
百日咳	特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで。
風しん(3日はしか)	発しんが消失するまで。
麻疹(はしか)	解熱した後3日を経過するまで。
水痘(水ぼうそう)	すべての発疹が痂皮化（かさぶた化）するまで。
咽頭結膜炎(プール熱)	主要症状が消失した後2日を経過するまで。
流行性耳下腺炎(おたふく)	耳下腺、顎下腺、または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで。
結核、髄膜炎菌性髄膜炎 腸管出血性大腸菌感染症 流行性角結膜炎 急性出血性結膜炎 その他の感染症	学校医、その他の医師が感染のおそれがないと認めるまで。

忌引きになる時

親族にご不幸があったとき、それに関連する休みについては出席簿上で忌引扱いになる（学校を休んでも欠席扱いにならない）場合があります。ただし、生徒と亡くなった方との続柄によって、忌引になる日数が以下のように異なります。

- 1 親等の直系尊属（父・母） … 7日以内
- 2 親等の直系尊属（祖父母） … 3日以内
- 3 親等の傍系者（兄弟姉妹） … 3日以内
- 4 親等の傍系者（おじ・おば） … 1日以内

※上記以外の親族の方のご不幸にかかわる休みについては、「欠席」扱いになります。

入学（就職）試験について

- 1 入学（就職）試験当日は、「欠席扱いとしない日」となります。
- 2 県外入試のため、移動日が必要で、連続して登校できない場合も「欠席扱いとしない日」となります。

大会参加について

授業日に中体連主催の大会に参加する場合は、「欠席扱いとしない日」となります。
ただし、中体連主催の大会のみです。

出席について

- 1 朝読書の開始時刻（8時20分）に教室にて過ごしていることとします。
※この時刻を過ぎてからの登校は、「遅刻」扱いとします。なお、6校時までの授業に参加できない場合は、「早引き」扱いとします。
- 2 「各授業」の開始後、その途中で、通院・受診等に出かけ、「帰りの学活」前（授業時間内）に帰校した場合は「出席」とします。
※健康面での事情等によって、いわゆる「中抜け」をした場合は「出席」扱いとします。
- 3 「出席」は、朝読書の時間（8時20分）から授業時間内（6校時終了）で学校生活全般を過ごしていることとします。

緊急時の校舎前への車の乗り入れについて

- 1 体調不良等で早退をする際、生徒を迎えに来る時には、校舎前まで車を乗り入れてかまいません。
- 2 上記1の場合を除き、生徒の安全確保のため、校舎前への車の乗り入れはご遠慮ください。特に、冬の時期は、校舎裏が積雪で狭くなり、さらに凍結しています。生徒の安全のためにご協力ください。

教科の学習

中学校では、小学校6年間で学習してきたことを基に、一人ひとりが自立した健康な社会人として生活できる力を養うために必要となる基礎的なことを学びます。

中学校での学習のめあて

基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを活用して課題を解決するために必要な能力を身に付けるとともに、主体的に学習に取り組めるようになること。

中学校で大切なのが教科の学習

学習のめあてを達成するために、3年間を通じて9つの教科を学習します。各教科で授業をしなければならない時間は決められています。

各教科に共通すること

1 学習のめあて

教科の学習を通して

- 表現力・創造力・運動技能や豊かな感性を身に付ける
- 社会人として生きていくために基礎的な知識を身に付ける
- 高校・大学などで専門的な知識を身に付けるための基礎学力を付ける

2 アドバイス

- 一番大切なことは授業を真剣に受けることです。
- 学習に楽な学習はありません。苦勞して覚えるからこそ身に付くのです。
- まとめて勉強しても成果は出ません。少しずつ毎日継続した学習が大切です。
- 教科の学習の一言アドバイスをよく読みましょう。

3 学習の内容

年度当初、教科の学習内容（教育課程）を決めて1年間の指導計画を立て、それに基づいて授業をします。学習内容は学習指導要領（文科省が示した学年別・教科別の学習すべき内容）に従い、これまでの生徒の実態をふまえて決められます。具体的な学習は、その時々々の生徒の実態や発達段階に応じて見直すなど柔軟に進めています。計画の立て方や学年ごとの学習内容の決め方は各教科の特性によって異なります。

学習のめあて

国語科



- 日本語〔国語〕を用いて、文章や話の内容を正確に理解し、自分の考えを適切に表現したりする能力を身に付ける。
- 日本語〔国語〕を通して、思考力・判断力・表現力を伸ばす。

アドバイス

【授業の受け方】

- 1 積極的に手を挙げて、発言しましょう。
- 2 課題とじっくりと向き合い、自分の考えや思いを言葉で表現しましょう。
- 3 友だちの考えを大切にし、自分の考えを深めたり広げたりしましょう。
- 4 意味や使い方が分からない言葉は自分から国語辞典を引き調べましょう。

【授業への準備】

- 1 予習・復習を必ず行いましょう。
 - ・授業で学習するところを音読する。（声に出して読んでみる。）
 - ・新出漢字の用例や意味を調べる。
 - ・脚注（教科書の下の部分）やわからない語句の意味を調べる。
- 2 日頃から読書の習慣をつけ、活字に触れましょう。
☆国語の学習は以下の4つの項目に分けられます。
授業活動の一例を紹介します。

学習の内容

〈話す・聞く〉	〈書く〉	〈読む〉	〈言語〉
<ul style="list-style-type: none">・スピーチ・バズセッション・ポスターセッション・パネルディスカッション・プレゼンテーション・インタビュー・社会への提案	<ul style="list-style-type: none">・手紙 (気持ちをこめて書こう)・鑑賞文 (感じたことを文章にしよう)・意見文 (立場と根拠を明確にして書こう)・批評文 (説得力のある考えを述べよう)	<ul style="list-style-type: none">・小説・物語 (走れメロス、故郷 握手)・説明文・論説文 (ちょっと立ち止まって、モアイは語る)・古文 (竹取物語、平家物語)・漢文 (漢詩の風景、論語)・短歌・俳句	<ul style="list-style-type: none">・話し言葉と書き言葉・文法・指示語と接続語・漢字の音訓・漢字の成り立ち・方言と共通語・類義語・対義語・多義語・熟語の構成・敬語 ・書写・和語・漢語・外来語・慣用句・ことわざ・故事成語

数 学 科



学習のめあて

- 数量・図形に関する基礎的な知識、技能を身に付ける。
- 筋道を立てて考え、ものごとを合理的に処理する能力を伸ばす。
- 自主的・積極的に考え、新しいものごとを理解し、創造しようとする能力と態度を養う。

【数学を学ぶことで身に付くこと】

数学は計算ができるようになるだけの教科ではありません。考え方を鍛えることもできる教科です。あることを基本にして次の新しいことを考えるような論理的な思考を鍛えることができます。これは、思いつくスピードや、計算のスピードの違いは数学の考え方の深さと必ずしも一致しません。それぞれにスピードの差はあっても、みんなに「数学的な考え方」を身に付けて欲しいと願っています。

アドバイス

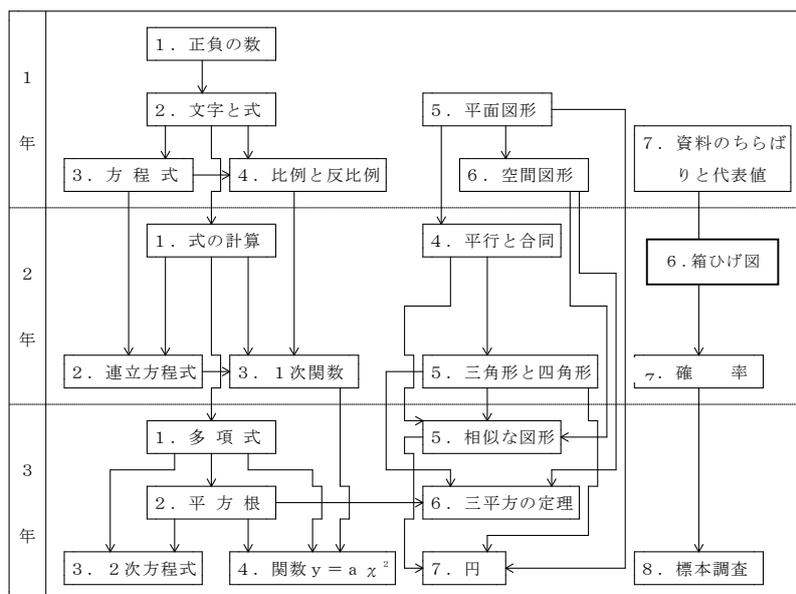
【授業の受け方】

- 1 自分に与えられた時間を有効に使うように努力していきましょう。
道具の忘れは、いけません。授業の前に確認し、担当の先生に連絡をしましょう。
- 2 基本は、一時間ずつ、自分で考えてやってみることです。
どこがわからないのかがはっきりとしてきます。わからないときは、どんどん質問をしましょう。

※つまずいたら、一度前へ戻ってみることが大切です。理解できたつもりでも、必ず問題が解けるとは限りません。授業の中で学習したことがらを使って、自分の力で問題解決できるように、できるまで繰り返し学習することが大切です。

学習の内容

一週あたりの授業時数は1年と3年が4時間、2年が3時間です。
各学年の単元配列は、だいたいいにおいて、数と式→関数→図形（→確率・統計）となっています。
それらの単元の3年間の前後関係を示すと、右の図のようになっています。つまずいた時などには、この系統図の矢印を戻って学習することもよいでしょう。



社会科



学習のめあて

- 広い視野に立ち、社会的事象に対する興味・関心を高める。
- 資料に基づき、国土や歴史についての様々な見方・考え方・知識を身に付ける。
- 社会の一員として生きていくために必要な知識や技能、態度を身に付ける。

アドバイス

【学習に臨む姿勢】

- 1 課題をつかむ。
 - ・学習内容について、「なぜ?どうして?」という疑問を持って取り組む。
- 2 調べ、追究し、課題の解決をめざす。
 - ・質問したり、教科書・地図帳などで調べたりして、課題解決を図る。
- 3 新たな課題を見つける。
 - ・もっと知りたいことや調べたいことを見つけ、学習を深める。

【授業の受け方・家庭学習の仕方】

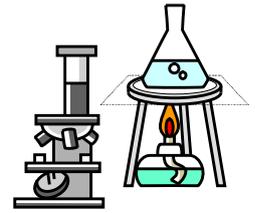
- 1 忘れ物をしないように、前日に持ち物を確認しましょう。
 - 教科書など授業で使用するものは、事前に机の上に用意しておきましょう。
- 2 復習を行う。
 - ・授業で学習した内容で理解できなかったところを調べましょう。
 - ・関連したことがらを調べ、内容を深めましょう。
 - ・学習した範囲の問題を解いてみましょう。

学習の内容

☆社会の学習は地理・歴史・公民の3分野に分けられます。

	1年生	2年生	3年生
地 理	世界の姿 日本の姿 世界各地の人々の生活と環境 世界の諸地域	地域調査の手法 日本の地域的特色と地域区分 日本の諸地域 地域の在り方	
歴 史	歴史へのとびら 古代までの日本 中世の日本	近世の日本 開国と近代日本の歩み	二度の世界大戦と日本 現代の日本と私たち
公 民			現代社会と私たち 個人の尊重と日本国憲法 現代の民主政治と社会 私たちの暮らしと経済 地球社会と私たち よりよい社会を目指して

理 科



学習のめあて

- 自然に親しみ、自然の様々な現象に興味・関心を持つ。
- 目的意識を持って観察・実験に取り組み、科学的に調べる能力や態度を身に付ける。
- 観察・実験などを通して、規則性を見出し、関連づけて捉えるなど、科学的な見方考え方を身に付ける。

アドバイス

【授業の受け方】

- 1 「予想」や「考察」など、自分の考えを書いたり伝えたりできるように努力しよう。
- 2 なぜ、その実験や観察をするのかを考えて取り組み、経過や結果から何がいえるのか、自分で説明できるようにしよう。

【家庭学習の仕方】

- 1 短時間でもよいので、その日の授業をふり返り、習った事柄を必ず確認しよう。
- 2 週に1回程度、復習として補助教材の問題集に取り組もう。
- 3 特に予習は必要はないが、日頃から教科書や資料集に目を通しておこう。
- 4 科学的なニュースに関心を持ち、調べる機会を増やそう。

学習の内容

1 年 生	2 年 生	3 年 生
<ul style="list-style-type: none">○ いろいろな生物とその共通点○ 身のまわりの物質○ 身のまわりの現象○ 大地の変化	<ul style="list-style-type: none">○ 化学変化と原子・分子○ 生物のからだのつくりとはたらき○ 天気とその変化○ 電気の世界	<ul style="list-style-type: none">○ 化学変化とイオン○ 生命の連続性○ 運動とエネルギー○ 地球と宇宙○ 地球と私たちの未来のために

英語科



学習のめあて

- 外国語（英語）を通して、言語や文化に対する理解を深める。
- 外国語（英語）を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。
- 聞くこと・話すこと・読むこと・書くことの実践的コミュニケーション能力の基礎を身に付ける。

アドバイス

【授業の受け方】

- 1 英語の力が身に付くかどうかは、どれだけ真剣に授業に取り組むかという姿勢にかかっています。積極的に言語活動に取り組んだり、発言したりしましょう。
- 2 本校は週に2日「ALT＝外国人指導助手」が来てくれます。授業だけでなく、日常生活の中で積極的に話しかけたり、会話に挑戦したりしてみましょう。生きた英語が身に付きます。

【家庭学習の仕方】

- 1 英語は、積み重ねが大切な教科です。そのため毎日短時間でもよいので、家庭学習（予習・復習）を続けることが大切です。
- 2 授業、そして予習・復習も大切ですが、いかに日頃から英語に接し、親しむかが大きなポイントです。身の回りには探す必要もないくらい英語があふれています。学習と気負わずに、自分が興味のあるもの（例えば映画や歌など）と英語をリンクさせてみてはどうでしょう。

学習の内容

英語は読むこと、聞くこと、話すこと、書くことに分かれます。
ここでは主に文法について示します。

1 年 生	2 年 生	3 年 生
<ul style="list-style-type: none"> ○アルファベット、あいさつ ○be 動詞と一般動詞 ○命令文、否定命令文 ○疑問詞 (how, what, which, who, where, when) ○前置詞 ○代名詞 (主格・所有格・目的格) ○現在進行形 ○助動詞 (can) ○過去形(規則動詞、不規則動詞) 	<ul style="list-style-type: none"> ○過去形(be 動詞) ○過去進行形 ○不定詞 ○未来形 (be going to) ○助動詞(will, must, may, shall) ○接続詞(if, that, when, because) ○There is～. /There are～. ○動名詞 ○比較 	<ul style="list-style-type: none"> ○受動態 ○現在完了 ○SVOOC ○It is ～for to… ○後置修飾 (現在分詞・過去分詞) ○間接疑問文 ○接触節 ○関係代名詞 (主格・目的格)

音楽科



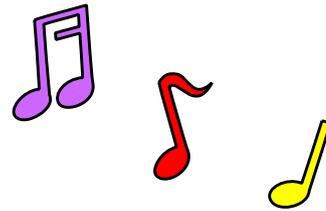
学習のめあて

- ◎ 表現・創作・鑑賞活動を通して生涯にわたって音楽を楽しもう
- 意欲的に活動に取り組み、音楽活動を楽しもう。
- 音楽活動の基礎的な能力を伸ばそう。
- 感じる心や表現する心を養い、豊かな感性を育てよう。

アドバイス

- 1 音楽は、心と体でその曲の良さを感じ取り、楽しむものです。あまり難しく考えずに、音楽室では自分の心と体を解放して、思い切って表現してみてください。
- 2 合唱活動ではパートごとに自分たちで音取りをしたり練習したりすること、楽器の演奏活動ではコツコツとあきらめずに練習を進めていくことが大切です。

学習の内容



【表現】

- 歌唱（斉唱、混声三部合唱など）
明るくのびのびとした響く声で無理なく歌おう
- 楽器の演奏
和楽器、篠笛などの演奏の仕方を学んで、アンサンブル活動を楽しもう

【創作】

- 簡単なリズムとメロディーを作ろう

【鑑賞】

- イメージ、感じたこと、情景、文化や歴史
- 楽曲の形式や構成
- 音色やリズム、旋律、速度の強弱、テクスチャなどの音楽的な特徴
- 音楽の時代背景
※これらに視点をあてて、幅広く音楽を味わおう

美術科



学習のめあて

◎造形活動を通して豊かな人間性を養おう

- 意欲的に授業に取り組み、創造活動を楽しもう。
- 豊かに発想する力や、創意工夫して表現する技能を身に付けよう。
- 自然の造形や美術作品感じる心や表現する心を養い、豊かな感性を育てよう。

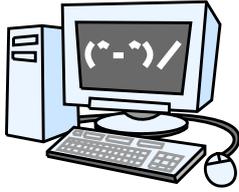
アドバイス

- 1 小学校の時よりも専門的な道具を使い、本格的に絵や彫刻、デザインなどの学習をします。基礎的な技能を身に付けながら、自分の思いや考えを自由に表現しよう。
- 2 授業では「心を込めて一生懸命取り組む」ことが大切です。最後まで粘り強く制作し、充実感や達成感を味わおう。
- 3 友達の作品や教科書などの作品を鑑賞し、作品の好きなところや良いところをたくさん見つけよう。
- 4 美術の授業は、1年生は年間で45時間(週1.3時間)、2・3年生は35時間です。短い時間なので集中して取り組もう。

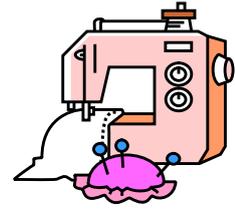


学習の内容

- 1年生 色の学習、絵文字(漢字)のデザイン、動物のしぐさ、風景画
本物そっくり木彫
- 2年生 上履きデッサン、空想の絵(モダンテクニック)、一瞬の動き(粘土)
- 3年生 自画像、手(粘土)、風景画



技術・家庭科



学習のめあて

- 生活と技術について理解し、それに係る技能を身に付ける。
- 生活や社会の中から課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善・表現するなどの課題解決力を養う。
- よりよい生活の実現や接続可能な生活を工夫・創造しようとする、実践的な態度を身に付ける。

アドバイス

【授業の受け方】

- 1 実践が中心の教科なので、興味をもったことや疑問に思ったことを調べたり、実際に作ってみたりすることが大切です。
- 2 実習では安全に気を付けて作業し、必ず作品を完成させるようにしましょう。

【家庭学習について】

- 1 日頃から家庭や学校、地域の中で課題意識をもって生活しよう。
- 2 学校で学んだことを家庭でも実践し、自分の生活の中で生かしていきましょう。

学習の内容

	1 年 生	2 年 生	3 年 生
技 術 分 野	○材料と加工の技術 ○情報の技術	○エネルギー変換の技術 ○生物育成の技術	○情報の技術
家 庭 分 野	○食生活と栄養 ○献立作りと食品の選択 ○衣生活と自立 ○手入れの基礎技能 ○生活を豊かにするために	○家族・家庭と地域 ○幼児の生活と家族 ○これからの私と家族 ○住生活と自立 ○調理と食文化 ○私たちの消費生活①	○私たちの消費生活② ○環境に配慮した消費生活 ○お弁当作り

保健体育科



学習のめあて

- 生涯体育・スポーツにつながる運動習慣を身に付ける。
- 各種の運動技能には名称があり、それを身につけるためのポイントが理解し、運動能力や運動技能を高める。
- 個人、グループ、チームで運動に取り組む中で伝え合う活動を通して、運動する楽しさや喜びを味わい、技能を高める。
- 日常生活の中で健康の保持ができる知識や実践力を身に付ける。

アドバイス

- 1 記録や技術を向上させるために積極的に学習に取り組もう。
- 2 自分の能力や技能に応じた目標や課題を設定し解決するための方法を考えよう。
- 3 仲間とともに、伝え合う活動を通して課題を克服し技能を高めよう。
- 4 学習カードを活用することで自分の課題や成果を確認しよう。
- 5 振り返りカードに授業のポイントや自分の考えをしっかりと書き表現しよう。

学習の内容

	1 年 生	2 年 生	3 年 生
保 健	<ul style="list-style-type: none"> ●運動やスポーツの多様性 ○健康な生活と病気の予防 ○心身の発達と心の健康 	<ul style="list-style-type: none"> ●運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 ○健康な生活と病気の予防 ○障害の防止 	<ul style="list-style-type: none"> ●文化としてのスポーツの意義 ○健康な生活と病気の予防 ○健康と環境
体 育	<ul style="list-style-type: none"> ○集団行動 ○体づくり運動 ○新体カテスト ○陸上競技（短距離走、長距離走、リレー、ハードル、跳躍種目など） ○器械運動（マット、鉄棒、跳び箱） ○球技（バレーボール、サッカー、バスケットボール、ソフトボールなど） ○ダンス ○柔道 		

中学生の家庭学習について

中学生になったら、家でどんな勉強をすればいい？



中学生になったからといって、特別な勉強をすることはありません。

小学校と同じで、授業や教科書の内容が、理解できているかどうか大切です。



中学の3年間で→ **自分の勉強のやり方を見つけることが大切！**

まずは **90分学習すること** を目標にしましょう

※具体的にどんな家庭学習？

① 毎日の宿題 ② 復習 ③ 予習

○中学生の勉強法 = 自分のやり方を確立するために！

例えば・・・宿題に45分かけて、残りの40分はどんな学習をする。

- まずは計画（何曜日に何の教科をするか決める。1日1教科でも、1日2教科でもよい。）
- 時間の整理（例：トータル45分＝15分×3セット 20分×2セット 30分×2セット）
- ノートのまとめ方を工夫する
- ドリル練習は、丸付けに時間をかける。（どう間違えたか考える。）



予習や復習のやり方については、次ページをご覧ください。

家庭ではこんな勉強法を(アドバイス)

- 1 教材を限定して100%マスターする。
 - (1) 教科書の内容を理解する事から始める。教科書を読み、分かることが大切。分かったつもりにならない。
(群馬県は公立高校受検者が70%以上) →教科書は入試問題出典そのものである。
 - (2) 教材をできる限り少なくして、完全にマスターする。教科書の内容が理解できているか、確かめることができるのもワークへの取り組み(1つのワークを何度でも)
- 2 同じ内容を/同じ順序で/同じ所を繰り返す。
 - (1) 繰り返し法で最大の効果を上げる。
 - ①まずは解く。「できた!」という充実感を味わう。(できないのではなく、経験してないだけ)
 - ②期間を空けて、一度解いた問題をもう一度解く。(できないと悔しい→まとめ方を工夫するチャンス)
(覚える→忘れる→思い出す→忘れる→思い出す→・・・)この繰り返しが大切
- 3 大きな声で唱えながら書く
 - (1)口を使って覚えた記憶は確実に身に付く。→落語家の修行は、師匠の嘯を耳で聞いて、口を使って。
 - (2)唱えながら書いて覚えるのが理想的である。(口、耳、目、指、多くの感覚器を使って覚える。)
→「Sunday, Monday, Tuesday…」 「水・ヘイ・リー・ベ・ぼくのふね…」
「 $\sqrt{5}=2.2360679$ (富士山麓オーム鳴く)」
「人の世むなし(1467)応仁の乱」
「かる・かつ・く・(う)・い・い・けれ・〇」など

各教科の勉強の紹介

- 1 5科の勉強法〔基本編〕
 - (1) 国語の勉強法 ※漢字や言葉を覚えるコツは毎日、欠かさずに続けること。【時間をかけて】
 - ①知らない言葉や漢字があれば、すぐに調べる。(家に辞書を置いておく)
 - ②日頃から読書の習慣をつける。
 - ③新しく覚えた言葉を使って文章を書く。
(日記、新聞の社説に対する意見、物語の感想など)
 - (2) 数学の勉強法 ※中1の正負の数、文字式、一次方程式が全ての基礎
 - ①途中の計算をきちんと書く。途中計算は頭で考えていることの見える化
 - ②図を描いて考える。できるだけ、比率を正しく描くくせをつけると効率が良い。
 - ③問題パターンを身に付ける。「この内容は、このパターン」と、問題パターンはほぼ決まっている。
 - (3) 社会の勉強法
 - ①口で唱えながら書いて覚える。
 - ②多くの事項を覚えようとする際は、一つずつ覚えるのではなく、ひとまとめにして繰り返して覚える。
 - ③覚えたい範囲を1~3回読んだ後、できるだけ簡潔にまとめたサブノートを作り完全に覚える。
 - ④何度も繰り返し学習する。だいたいの内容は3回解くと、覚えられる。
 - (4) 理科の勉強法
 - ①物理・化学分野は教科書を参考にして、問題(学校で買った問題集)を解くようにする。
 - ②生物・地学分野は、重要語句をサブノートに書いてまとめる。ひとまとめにして、繰り返して覚える。
 - (5) 英語の勉強法
 - ①教科書を声に出して繰り返し読む。【音読は覚える作業に効果的である。】
 - ②基本文(教科書の右上に書き出してある英文)や新出単語は、スペルをよく見ながら、口で唱えて、その音

を自ら聞いて、書いて覚える。

③英検に挑戦する。(実力を測定する。)

※中1英語は、特に大切。→日本語の「ひらがな」学習と同じだと考えましょう。

2 5科の勉強法〔入試対策編〕

(1) 国語の勉強法 (※他教科とまったく違い、短期に成果は期待できない。)

①語彙を増やし、様々な伝え方ができるようにする。

②自分が問題を解いた後、正解と比べてどこが違うのかを検討する。

(2) 数学の勉強法

①教科書の公式・定理・例題の解き方等の総復習

②問題集での実践演習(入試問題集などを繰り返して解く。)

(3) 社会の勉強法

①入試問題集(各自持っているもの)を繰り返し解く。

②分からなかったら教科書を読む。

または、「1・2年の総復習(地理・歴史)」に戻る。

(4) 理科の勉強法

①教科書を読む。サブノートを活用する。

②単元テストをやり直す。分からなかったら、教科書に戻り確認する。

③入試問題集やワーク(各自持っているもの)を繰り返し解く。

(5) 英語の勉強法

①教科書の単語の総復習(巻末の単語表を使うとよい)

②教科書の基本文の総復習

③教科書本文中の、自分の知らない〔覚えていない〕表現の総復習

④問題集

※①②で4分の3の内容はマスターできる。③は余裕のある人

※私立高校受験の場合は、受験校のレベルに合わせた問題集をこなして、問題量の多さになれておく必要がある。



連絡票

連絡票は、各学期における学校生活の結果をご家庭にお知らせするものです。親子でご覧いただき、今後の学習や生活に役立てていただければと思います。
※来年度、帳簿作成システムの変更を予定しており、表紙、内容については変更があるかもしれません。



No. 1

令和 年度

通知表

教育目標

- ・ より明るく
- ・ よりかしこく
- ・ よりたくましく

学年組	年 組
氏 名	

	氏 名	1	2	3
校長	石塚 博文			
担任				
保 護 者 印				

草津町立草津中学校

年 組	番号	氏名
-----	----	----

学 習 の 記 録							
学 期		1学期		2学期		3学期	
		観 点 別 評 価	評 定	観 点 別 評 価	評 定	観 点 別 評 価	評 定
国 語	知識・技能	A	3				
	思考・判断・表現	B					
	主体的に学習に取り組む態度	C					
社 会	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
数 学	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
理 科	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
音 楽	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
美 術	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
保 健 体 育	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
技 術 家 庭	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
英 語	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						

キャリア教育

キャリア教育のねらいと計画

全体	生徒一人一人が自己理解のもとに将来の「生き方」を考え、主体的に自己の能力や適性にあった進路を選択・決定し、希望する進路の実現に向けて最善の努力し、自己実現を図ろうとする生徒を育成する。 (キャリアパスポートの活用)					
1年	自分の適性や生活を見つめ、自己理解を深めるとともに、自己伸長に努めるようにする。自分の将来や働くことへの興味、関心を持たせ、自ら進んで進路の希望や計画を立てられるようにする。 ・・・【自己理解】					
2年	将来の「生き方」を考え、正しい職業観を養い、自分自身でその筋道を吟味し、夢や希望を実現しようとする。また、自らが関心を持つ進路情報を理解し、一層明確な進路希望や計画を立案できるようにする。 ・・・【自己啓発】					
3年	自分の特色、能力や適性を把握し、希望する進路の情報を収集・吟味し、将来の「生き方」を考え、自分に合った進路の選択をするとともに、その進路の実現に向けての努力をするようにする。 ・・・【自己実現】					
	1年		2年		3年	
月	総合的な学習の時間 学級活動	その他	総合的な学習の時間 学級活動	その他	総合的な学習の時間 学級活動	その他
4	I 中学生の出発	学診テスト 学年懇談会	I 2年生になって	学診テスト 学年懇談会	I 3年生になって	学診テスト 学年懇談会
5	II 中学生の学習 1 学校生活と学習 2 家庭学習 III 将来の希望		II 働くことの目的 と意義 1 職場体験学習の 目的と方法、計画・ 打合せ		II 最終学年の学習 1 私の学習と生活設 計 2 充実した学習 III 適切な進路選択 1 将来の進路選択へ の心構え	
6	1 友達の進路希望 と先輩の進路					進路希望調査
7		家庭訪問		家庭訪問		家庭訪問
8			(体験入学)		体験入学	三者面談
9	2 自分の特色と進路 希望		2 職場体験学習実 施・まとめ		2 適切な進路の選 び方	
10	IV 余暇の利用 1 余暇の意義		III 学ぶ意義と効果 的な学習 1 私たちはなぜ学 ぶのか		3 進路の決定あ たって	高校説明会 進路希望調査
11	2 余暇の活用 3 読書と生活	二者面談	2 学習の方法 3 効果的な学習 4 調和のとれた学習	二者面談	IV 新しい生活への 準備 1 出願に必要な手 続きと心構え	三者面談
12					面接練習、進路 相談	
1	V 将来の職業 1 職業学習 2 職業調べ		IV 私の進路 V 就職の考え方 VI 上級学校と各種 学校		願書作成 進路相談	私立高校受験
2			上級学校発表会		進路相談	公立選抜
3	1年のまとめ		進路希望とその実現 へ		V 新しい世界に向 かって 2 新生活への決意	卒業式

学校行事〔草中の一年〕

※令和6年度の大まかな予定

1 学期

〔4月〕

- 始業式・入学式
- 生徒会、部活動オリエンテーション
- 避難訓練
- 授業参観・学年懇談会
- 身体測定

〔5月〕

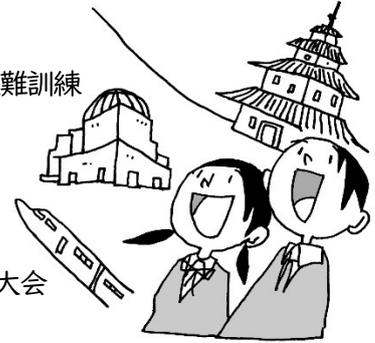
- 2年生高原学校
- 生徒総会
- 持久走大会

〔6月〕

- 3年生修学旅行
- 1年生コマクサ植え
- 吾妻郡中体連総合体育大会
- 廃品回収

〔7月〕

- 期末テスト
- 少年の主張校内大会
- 中部地区吹奏楽コンクール
- 群馬県中体連総合体育大会
- 家庭訪問
- ドイツホームステイ



2 学期

〔8月〕

- 少年の主張吾妻大会
- 2学期始業式

〔9月〕

- 吾妻郡中体連新人大会
- 体育祭
- 生徒会役員選挙
- 吾妻郡郡英語弁論大会

〔10月〕

- 吾妻郡総合体育大会駅伝競走大会
- 草華祭（合唱コンクール、球技大会）
- 2年生職場体験学習

〔11月〕

- 避難訓練
- 面談週間
- 廃品回収

〔12月〕

- 人権週間
- 2年楽泉園訪問



3 学期

〔1月〕

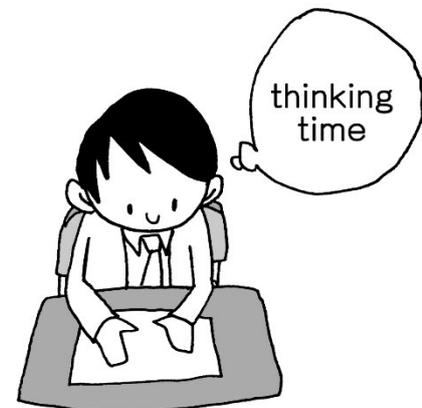
- 群馬県総合体育大会スキー大会
- 3学期始業式
- 書き初め大会
- 私立高校受験

〔2月〕

- 公立高校選抜入試
- 群馬県新人大会スキー大会
- 授業参観、学年懇談会、PTA総会
- 新入生説明会

〔3月〕

- 予餞会
- 卒業証書授与式
- 修了式



守ろう白根の自然とコマクサ

なぜコマクサの移植が必要だったか

戦後、コマクサは結核や肋膜炎の特効薬として珍重され、花の美しさよりも薬草として盗掘された。その後、結核の薬が研究されてからは山野草のブームで盗掘は続き、コマクサは絶滅の危機になった。

そして、コマクサの絶滅の危機を何とか防ごうとし、民間のボランティアで本白根山のコマクサ保護、復元を進める活動が始まった。中学生によるコマクサ復元活動は、当初、隣村の六合村に住む故山口雄平氏に苗を分けていただき、それを本白根山に移植する活動であった。その後、学校の敷地内にコマクサ専用の花壇を作り、校内での栽培も実施してきた。それからは、山口氏の苗と、校内の苗の両方を移植した。

地域の方々と連携したコマクサの移植・保護活動の歴史

本校の1年生は昭和56年から学年行事としてコマクサの保護・復元に参加するようになった。それから、関係町村による官民挙げての支援となるよう「本白根山のコマクサ保護、復元を進める会」が昭和61年に設立された。この会には、各種団体が参加し、コマクサの復元・保護活動の日取りや活動方法・内容を検討し、活動を実施している。そして、およそ20年間の活動の成果で本白根山のコマクサの復元がほぼ完了した。そのため、平成8年から組織を「本白根山系の高山植物を護る会」とし、新たにスタートして現在に至っている。したがって、現在の活動は、復元よりも保護が中心の活動となっている。草津中学校の長年の功績が評価され、平成15年には環境省から地域環境美化功労者の表彰、平成18年には緑化推進功労者内閣総理大臣表彰を受けた。

自然環境を考える総合学習として活動

生徒はほとんど草津町で生まれ育っているが、本白根山のコマクサを小学生までに見に行ったことがある生徒は、ほんの数名であった。生徒たちは中学校に入るとコマクサ保護活動があることは知っているが、その意義は知らない。そこで、現在では、このコマクサ保護活動を総合学習に位置づけ、生徒は、この学習からコマクサの歴史やこれまでの移植と保護の取り組みを知り、自分たちも実際に保護活動に取り組む。また、この保護活動に関連した草津町の環境に関する調べ学習も並行して行い、環境の意識を高めている。



【コマクサ植えの様子】



高原学校(2年生)

高原学校は中学校生活の中で初めて行う集団宿泊的行事です。1泊2日の集団生活の中で、ルールを尊重し、友達同士で協力する姿勢や望ましい社会性を育てることを目的にしています。主な活動は『カッター実習』『キャンプファイヤー』『ウォークラリー』などです。



場所は榛名湖、宿泊施設は財団法人「榛名高原体育センター」です。メインはやっぱりカッター実習です。クラスみんなの心が一つになり、とても充実したカッター実習でした。



生徒中心の実行委員会を組織し、スローガンを決め、自分たちで企画運営をします。

修学旅行(3年)

本校の修学旅行は、バスと新幹線を使って2泊3日で京都、奈良方面へ行きます。2年生時の宿泊行事である高原学校で学んだことを、この修学旅行で発揮します。

生徒の実行委員会を組織し、自分たちで安全にルールを守って3日間を過ごします。班別行動もあり、自分たちで計画を立て、時間を見ながら見学をすることもあります。3日間で京都、奈良の全てを知り尽くすことはできませんが、日本の古都を巡りながら、歴史に触れ、友人との絆を深めていきます。

《日程例》 年ごとに変わります

1日目

草津＝軽井沢＝東京＝京都、奈良団体行動（法隆寺、東大寺、薬師寺等）＝宿舎

2日目

宿舎＝京都市内班別行動（二条城、金閣寺、銀閣寺、北野天満宮、宇治平等院等）＝宿舎

3日目

宿舎＝京都市内団体行動（清水寺、三十三間堂等）＝東京＝軽井沢＝草津



【奈良 法隆寺夢殿にて】



【京都 清水寺にて】



【京都ならではの能体験もしました】

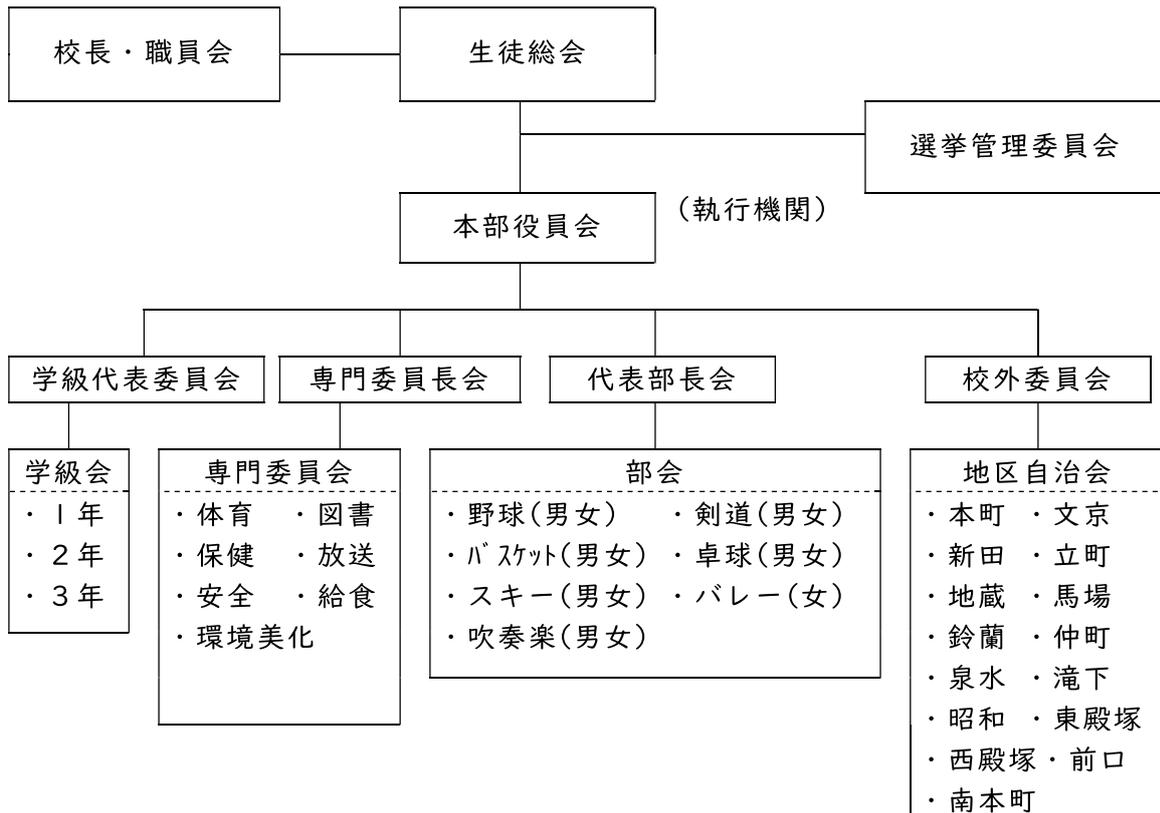


【食事も関西風の食事が出ます】

生徒会のしくみと生徒心得

草津中学校の生徒会は、先生方の助言と指導のもとに自発的学習及び自治的活動を盛んにし、楽しく、規律正しい学校生活を築き、豊かな人間性を育て、学校の発展と向上を図ることを目的としています。

1. 生徒会組織



2. 年間の主な生徒会行事

4月	・生徒会オリエンテーション
5月	・生徒会朝礼（毎月1回）
6月	・生徒総会 ・地区自治会 ・夏季廃品回収
7月	・中体連郡総合体育大会壮行会 ・三者協議会 ・中体連県総合体育大会壮行会
9月	・生徒会本部役員選挙
10月	・校内文化祭「草華祭」 新旧本部役員引き継ぎ式
11月	・地区自治会 ・生徒会誌「通学路」編集（～1月） ・冬季廃品回収
12月	・中体連県総合体育大会スキー大会壮行会 ・三者協議会
2月	・中体連全国スキー大会壮行会
3月	・予餞会 ・生徒会誌「通学路」発行
5月～10月（原則第1金曜日）早朝美化活動	

3. 今年度の活動方針

令和5年度後期から令和6年度前期 草津中学校生徒会活動テーマ

個性と笑顔で輝け ～ Let's Challenge ～

4. 主な活動状況

月	生徒会行事	月	生徒会行事
4	・生徒会、部活動オリエンテーション	10	・草華祭 ・生徒会本部役員引き継ぎ式
5		11	・冬季廃品回収 ・生徒会誌「通学路」編集委員会組織
6	・球技大会 ・生徒総会 ・地区自治会① ・三者協議会① ・夏季廃品回収	12	・三者協議会② ・スキー部郡総体壮行会
7	・郡総体壮行会 ・県総体 ・吹奏楽コンクール壮行会 ・夏季廃品回収	1	
8	・選挙管理委員会組織	2	・予餞会
9	・体育祭 ・草華祭実行委員組織 ・郡駅伝大会壮行会 ・地区自治会② ・生徒会本部役員選挙	3	・生徒会誌「通学路」発行
・委員会活動（月1回） ・生徒会朝礼（月1回） ・早朝美化活動 ・あいさつ運動 ・郡生徒会情報交換会参加 ・赤い羽根募金 ・草津中学校入学説明会参加（1月）			

5. 生徒心得

(1) 登下校

- ◇登校時はジャージを着用し、決められた通学路を通り登校すること。
- ◇欠席及びやむを得ず遅刻する場合は、8:10迄に保護者より学校に連絡すること。
- ◇登校後は、無断で外出しないこと。
- ◇早退する場合は、担任教師に申し出ること。また、予定される早退は、保護者より学校に連絡すること。
- ◇下校時刻については定められた時刻を守ること。

(2) 服装関係

- ◇男子は、草津中学校指定の制服を着用すること。
 - ・ワイシャツは白とする。 ・ソックスは白とする。（ワンポイントは可）
- ◇女子は、草津中学校指定の制服を着用すること。
 - ・ブラウスは白とする。 ・ソックスは白とする。（ワンポイントは可）
 - ・ストッキングの色は、黒か肌色とする。 ・ズボンの着用を認める。

- ◇6月1日と10月1日を衣替えの時期とする。
- ◇夏季は上着を着用しなくてもよい。
- ◇体育着は草津中学校指定のものを着用し、決められた位置に名札をつけること。
- ◇防寒用衣類は、学校指定のウィンドブレーカー、手袋・マフラー・ネックウォーマー・帽子・スノーシューズ・手袋・マフラー・帽子・スノーシューズは、防寒対策として着用し、色・形状などは特に規定しない。ただし、登下校時のみ着用可とする。「ベンチコート」「ダウンコート」「スキーウェア」を着用する場合は必ず、ウィンドブレーカーを着用の上、使用してください。
(白、グレー、黒、紺等を基調とした中学生としてふさわしい物)
- ◇カバンは、指定されたカバンを用いること。
- ◇頭髪は、清潔で中学生らしい髪形とする。
- ◇女子の長い髪はしばること。前髪は目にかからないようにすること。
- ◇上履き及び体育館履きは、学校指定のものとする。
- ◇下履きは、白を基調とした運動ぐつとする。
- ◇冬季や雨天の場合は、ゴム長ぐつ、雪上運動ぐつでもよい。
- ◇携帯電話や時計など、必要のない物は学校に持ってこないこと。

(3) 校内生活

- ◇給食当番は、給食着とマスクを着用して配膳すること。
- ◇ガラスや器具などを破損した場合には、必ず担任教師に報告し「公共物破損届」に記入すること。※故意の破損の場合には弁償すること。 (詳細は p.46 参照)
- ◇授業に遅刻した場合には、必ず教科担任の先生に理由を告げること。

(4) 校外生活

- ※家庭の責任と判断を基本としますが、下記のような約束をお願いします。
- ◇外出の際は、必ず行く先や帰宅時間をはっきり告げて出かける。
- ◇夜間の外出はしないこと。9時以降の外出は禁止する。
- ◇生徒のみかつ保護者の許可のない外泊は禁止する。
- ◇自転車に乗る時は、必ず交通ルール(道路交通法)を守り、町外に出るときは、保護者に伝える。
- ◇ゲーム場や喫茶店等の出入りは禁止する。

(5) 家庭生活

- ◇「生活ノート」に記録し、一日の生活の反省をする。
- ◇計画的な家庭学習(予習・復習)をするとともに、進んで家事の手伝いをする。